

市内小・中学校の *学校評価について

森田 常夫議員

・質問 学校評価に関し、次の点について伺いたい。
本市における小・中学校の学校評価の公開は、どのような方法でなされているか。

・答弁(教育長) 市内すべての小・中学校が学校評価を実施しており、その評価結果を学校だよりや地域広報紙に掲載するとともに、PTAの会合や学校評議員の会議などの際に説明するなど

外部評価は導入しているか。評価結果が教育現場の改善につながっているか。

の方法で公開している。

評価項目は、学校教育目標や学校経営方針、授業研究・改善などの学校経営の根幹に係わること。道徳教育や学校行事、生徒指導や進路指導など児童・生徒にかかわること。情報の公開や家庭、地域との連携など開かれた学校づくりに係わることなどさまざまな項目に及んでいる。

外部評価は、小学校八校、中学校全校で実施している。

保護者や学校評議員による評価を行い、年度末や学期末

にその結果を公表している。

また、小学校二校、中学校一校において、児童・生徒による評価も実施している。

学校評価の実績により、児童・生徒や保護者の意識を把握し、教職員の意欲の喚起につなげるとともに、全教職員で評価結果に基づいた改善等

について話し合いを持ち、次年度の学校運営や教育活動に反映させるよう努めている。

学校評価を行うことは、それを次年度の教育活動に生かせることや教職員の意識改革

が図れることなど教育活動の充実につながるため大変有効なことと考えている。

その他の質問

・ふるさと基金の創設について

* 学校評価とは
平成十四年に小・中学校設置基準に学校の教育活動、学校運営状況の自己点検、自己評価とその結果の公表が努力規定として盛り込まれた。
現在ではほとんどの学校が、学校評価を行っている。

市役所の電話を IP化してはどうか

藤倉 宗義議員

・質問 市役所の外線用電話をIP化することにより、コスト削減につなげるべきと考えるが、見解を伺いたい。

・答弁(企画財政部長)

近年、インターネットの普及に伴い、企業や一般家庭においてもIP電話の利用者が増加してきている。

県内の自治体でも、北本市や春日部市がすでにこのIP電話を導入しているため、北本市に問い合わせをしたところ、現在の電話交換機にIP電話用アダプタ(ゲートウェイ装置とも呼ばれる。)を取り付ける方式のもので、導入経費が三十万円程度、機器の

リース料が年間十数万程度で、年間で約百万円の経費削減を見込んでいるとのことであった。

この方式は、東京都板橋区役所が全国最初に取り組み、北本市は全国で四番目の取り組みということである。

本市においても、現在使用している電話交換機が平成十七年度にリース期間を終了するため、十八年度の予算査定の際にIP電話の導入について検討を行ったところである。しかし、庁内以外の出先機

関の電話を含めてIP化を実施する場合、設置機器の費用が高額になり、初期投資に約三千万円程度の費用が必要になるということもあり、平成十八年度の導入を見送ったという経緯がある。

今回、この北本市で実施している簡易な方法により、少ない経費でコスト削減の効果が期待できるということであり、今後具体的な検討を行い、その効果を十分検証し、早期の対応を図るよう進めたい。

その他の質問

・子育て支援の取り組み強化について

* IP電話とは
ADSLやファイバーなどの高速データ回線を利用した新しい電話サービス。従来の一般固定電話の通話料は、距離に応じて通話料が高くなるが、IP電話は全国どこでも通話料が定額という利点がある。
個人向けIP電話の利用者は、全国で八百万人以上いると言われている。